

福島近隣県等における健康影響に関する検討状況

〈岩手県〉

有識者会議を開催し、尿検査による内部被ばく線量の推計等を実施し、平成24年3月に「放射線の内部被ばくによる健康影響は極めて小さいと考えられる」としたうえで、甲状腺超音波検査、WBCによる検査、その他追加検査は必要ないと見解を取りまとめている。

〈宮城県〉

有識者会議を開催し、WBCによる内部被ばく線量の推計等を実施したうえで、平成24年2月に「科学的・医学的な観点からは、現状では健康への悪影響は考えられず、健康調査の必要性はない」と見解を取りまとめている。

〈栃木県〉

有識者会議を開催し、WBCやガラスバッチによる被ばく線量の推計等を実施したうえで、平成24年6月に「栃木県内は将来にわたって健康影響が懸念されるような被ばく状況にない」「今後、臨床的な検査を含む健康調査等は必要ない」と見解を取りまとめている。

〈群馬県〉

有識者会議を開催し、県内の空間線量等を検討したうえで、平成23年11月に「今回の福島第一原発事故を起因とする放射性物質の人の健康への影響については、全く問題のないレベルである」と見解を取りまとめている。

(公表資料をもとに環境省で作成)